

総務委員会

総務委員会では、所管事務の調査を令和元年10月23日（水）から令和元年10月25日（金）の日程で行政視察を実施する予定でしたが、台風

19号の被害状況等を鑑み、行政視察を中止しました。

民生文教委員会

令和元年10月2日～10月4日

◆地域包括ケアシステムについて

（富山県南砺市）

南砺市では、地域包括ケアシステムの深化を図り「南砺市を作り上げてこられた高齢者を不幸にしない」という信念のもと地域共生社会の創造を目指し、誰もが住み慣れた地域において幸せに生涯を過ごせる協働の街づくりに取り組んでいる。

であり学生選手のモチベーション向上に繋がっている。また、激励費を活用する事で保護者の経済的負担を軽減する事にも寄与している。

◆病児保育について

（石川県白山市）

白山市では、病気療養期にある児童が自宅での保育が困難な場合において、当該児童を一時的に保育する目的で実施している。

◆スポーツ大会等激励費について

（富山県富山市）

富山市では、スポーツ振興のためにスポーツ大会激励費の支給事業を実施している。特に支給が多いものは全国規模の小・中・高校生を対象とした競技大会（1人8000円の激励費支給）

働く保護者にとって「もしもの際の預け先がある」ということは、とても頼もしい事であり、子育て環境の整備において、その効果は大きいものである。蓮田市においても病児保育を望む市民は多い。今後の検討が望まれる。

建設経済委員会

令和元年10月2日～10月4日

◆創業支援の取組みについて

（宮崎県小林市）

小林市では、平成25年7月に中心市街地の中核的商業施設が閉鎖となり、中心商店街の商業機能及び魅力の減退が発生した。また、長期的停滞傾向に拍車がかかる恐れがあり、早期に抜本的な対策を講じる必要が生じた。そこで、中心市街地に「KITTO 小林」と「TENAMU ビル」の2つの大型ハード施設を建設し、また、商業機能の活性化を図ることを目的に「小林ビジネス支援センター」を設置した。

そのような中、生産するだけではなく、加工、販売まで一体的に取り組む「6次産業化」を推進し、6次産業化が確立していく中で、地域の雇用拡大や所得の向上が図られ、活力ある串間市の創造に繋げていった。

◆企業誘致の取組状況について

（宮崎県日南市）

日南市では、人口の減少とともに財政状況も厳しさを増しており、そうした中で限られた資源（ヒト、モノ、カネ）をどのようにまちづくりに生かしていくのか、これまで以上に「選択と集中」が必要となっていた。そこで民間人の登用、IT企業の誘致に取組み、商店街の再生が本格的に動き出すきっかけになった。

◆6次産業化の取組みについて

（宮崎県串間市）

串間市では、4割弱の方が農林水産業に従事しており、第1次産業が基幹産業となっている。